



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場会社名 グンゼ株式会社
 コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 児玉 和
 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	31,952	△4.3	1,570	34.3	△3,332	—	△5,709	—
28年3月期第1四半期	33,404	3.6	1,169	27.5	1,461	40.6	887	57.0

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △4,821百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 2,412百万円 (544.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△30.54	—
28年3月期第1四半期	4.65	4.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	171,029	100,227	57.8	528.63
28年3月期	169,749	106,639	61.9	562.44

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 98,838百万円 28年3月期 105,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	—	—	8.50	8.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当7円50銭 記念配当1円00銭(創立120周年記念配当)

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	1.9	4,000	9.2	4,600	481.5	2,600	—	13.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	209,935,165 株	28年3月期	209,935,165 株
29年3月期1Q	22,966,014 株	28年3月期	22,966,562 株
29年3月期1Q	186,968,159 株	28年3月期1Q	190,926,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)における日本経済は、緩やかな回復基調にあるものの、中国等海外経済の減速や英国のEU離脱等に伴う急激な円高の進行もあり、全般的に不透明感が拡大し、加えて4月に発生した熊本地震による影響等から、先行きの不確実性が高まりました。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20(2014年度～2020年度)」の3年目、第1フェーズの最終年度にあたり、『集中と結集』をキーコンセプトに、「SBU(戦略的ビジネスユニット)戦略による既存事業の選択と集中」「CFA(クロスファンクショナルアプローチ)活動による成長・新規事業の育成、創出」「成長戦略を支援する経営基盤強化」への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、メディカル分野は堅調に推移したものの、他の分野は総じて苦戦しました。アパレル事業は、主力ブランドの拡販と成長販路への取り組みを強化し堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31,952百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は1,570百万円(前年同期比34.3%増)となりましたが、急激な円高進行に伴い、将来の為替変動リスクをヘッジする目的で行っております通貨オプション取引に起因するデリバティブ評価損4,660百万円を営業外費用に計上したこと等により経常損失は3,332百万円(前年同期は経常利益1,461百万円)となりました。また、時価が著しく下落した投資有価証券の評価損3,894百万円を特別損失に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は5,709百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益887百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、主力のシュリンクフィルムが国内及び東南アジア輸出が好調に推移したものの、食品包装分野等の減速や原料安に伴う販売単価下落により減収となりました。エンジニアリングプラスチック分野は、非OA市場向け製品が好調でしたが、OA市場向けは低迷しました。電子部品分野では、グループ生産工場の再編・合理化等の構造改革を進めているものの、競争激化とタッチパネル販売低迷により苦戦しました。メディカル分野では、縫合補強材が国内外とも好調に推移しました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は11,789百万円(前年同期比14.0%減)、営業利益は967百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野では、快適工房等の主力ブランド及びレディスインナー等での差異化商品拡販並びに成長販路拡大により順調に推移しました。レッグウェア分野は、主力ブランドのサブリーナ及びメンズ商品を新たに立ち上げたレギンスパンツが好調に推移しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は16,376百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は1,049百万円(前年同期比82.8%増)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、商業施設「グンゼタウンセンターつかしん」はメインテナントの売場リニューアルに伴う一時的な休業影響を受けたものの、その他のショッピングモールのマスターリース事業が貢献し増収増益となりました。スポーツクラブ分野は、新規出店効果により売上は増加したものの新規店の初期費用影響を受けました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は3,874百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は298百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、171,029百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,280百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の増加2,202百万円、流動資産「その他」の増加1,689百万円（繰延税金資産等）であり、主な減少要因は、機械装置及び運搬具（純額）の減少995百万円、受取手形及び売掛金の減少867百万円であります。

負債は、70,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,691百万円増加しました。主な増加要因は、コマース・ペーパーを含む長短借入金の増加5,378百万円、流動負債「その他」の増加4,566百万円（為替予約等）であり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少1,047百万円、賞与引当金の減少789百万円であります。

純資産は、100,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,411百万円減少しました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加1,501百万円であり、主な減少要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少5,709百万円、配当による減少1,589百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の営業利益が概ね想定範囲内で推移していること、また第1四半期連結累計期間に計上したデリバティブ評価損及び投資有価証券評価損については、為替・株式相場が大きく変動しており、当連結会計年度末の評価額を予測することが困難なことから、平成28年5月12日に公表した通期業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,471	9,674
受取手形及び売掛金	28,925	28,057
商品及び製品	17,754	17,427
仕掛品	6,648	7,032
原材料及び貯蔵品	5,456	4,682
その他	5,369	7,059
貸倒引当金	△19	△13
流動資産合計	71,605	73,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,867	38,173
機械装置及び運搬具（純額）	15,819	14,823
土地	11,977	11,944
その他（純額）	3,220	4,254
有形固定資産合計	69,884	69,196
無形固定資産	1,322	1,252
投資その他の資産		
投資有価証券	18,523	18,771
その他	8,515	7,989
貸倒引当金	△101	△100
投資その他の資産合計	26,936	26,660
固定資産合計	98,143	97,109
資産合計	169,749	171,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,112	8,064
短期借入金	8,898	8,579
コマーシャル・ペーパー	5,200	11,200
1年内返済予定の長期借入金	1,954	1,928
未払法人税等	331	337
賞与引当金	1,117	328
その他	11,818	16,385
流動負債合計	38,433	46,824
固定負債		
長期借入金	14,355	14,079
退職給付に係る負債	4,887	4,925
長期預り敷金保証金	4,122	4,289
その他	1,310	683
固定負債合計	24,676	23,977
負債合計	63,110	70,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	13,999	13,998
利益剰余金	76,605	69,307
自己株式	△9,108	△9,108
株主資本合計	107,567	100,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,728	△226
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	1,838	1,241
退職給付に係る調整累計額	△2,117	△2,044
その他の包括利益累計額合計	△2,408	△1,431
新株予約権	246	246
非支配株主持分	1,233	1,143
純資産合計	106,639	100,227
負債純資産合計	169,749	171,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	33,404	31,952
売上原価	24,865	23,057
売上総利益	8,538	8,895
販売費及び一般管理費	7,369	7,324
営業利益	1,169	1,570
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	196	235
固定資産賃貸料	78	70
為替差益	162	—
その他	42	63
営業外収益合計	489	381
営業外費用		
支払利息	39	44
固定資産賃貸費用	95	59
為替差損	—	478
デリバティブ評価損	10	4,660
その他	51	41
営業外費用合計	196	5,283
経常利益又は経常損失(△)	1,461	△3,332
特別利益		
固定資産売却益	64	43
事業譲渡益	—	242
その他	0	—
特別利益合計	64	285
特別損失		
固定資産除売却損	18	163
投資有価証券評価損	—	3,894
特別損失合計	18	4,058
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,507	△7,105
法人税等	636	△1,367
四半期純利益又は四半期純損失(△)	871	△5,737
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	887	△5,709

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	871	△5,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,409	1,501
繰延ヘッジ損益	3	—
為替換算調整勘定	128	△658
退職給付に係る調整額	△0	73
その他の包括利益合計	1,540	916
四半期包括利益	2,412	△4,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,404	△4,731
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,694	16,042	3,667	33,404	—	33,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	51	85	150	△150	—
計	13,707	16,094	3,753	33,555	△150	33,404
セグメント利益	1,094	574	286	1,955	△786	1,169

(注) セグメント利益の調整額△786百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,776	16,325	3,849	31,952	—	31,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	50	24	87	△87	—
計	11,789	16,376	3,874	32,040	△87	31,952
セグメント利益	967	1,049	298	2,315	△745	1,570

(注) セグメント利益の調整額△745百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。